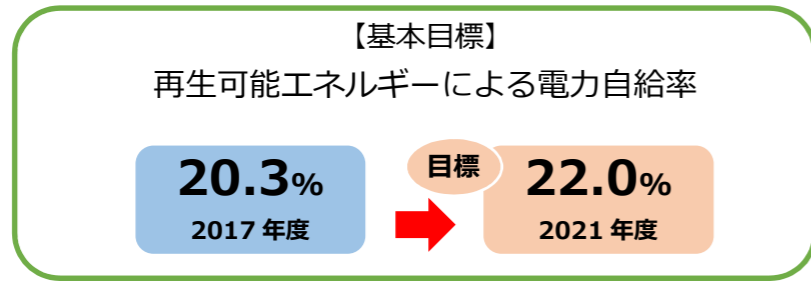


第3次奈良県エネルギービジョンの目標



【施策目標】

①環境にやさしいエネルギーの利活用による地域活力の向上	再生可能エネルギーを活用した地域コミュニティ活性化につながる取組	3件 2017年度	→	目標 6件 2021年度
	水素ステーション設置箇所数	0箇所 2017年度	→	目標 1箇所 2021年度
②緊急時のエネルギー対策の推進	非常用電源を整備している避難所数	523箇所 2017年度	→	目標 587箇所 2021年度
	固定価格買取制度（FIT制度）による再生可能エネルギー設備容量	448,929kW 2017年度	→	目標 584,000kW 2021年度
③エネルギーをかしこく使うライフスタイルの推進	奈良県内で消費された電力量	目標 電力使用量 2014年度比 3.5%減 を維持		
	太陽熱利用システム導入件数	3,803件 2017年度	→	目標 4,000件 2021年度
	エネファーム導入件数	6,198件 2017年度	→	目標 13,000件 2021年度
	事業用コージェネレーションシステム導入量	78,433kW 2017年度	→	目標 79,000kW 2021年度

第3次奈良県エネルギービジョン



平成31年3月
奈良県

【発行】奈良県地域振興部エネルギー政策課
(平成31年4月1日よりエネルギー政策課はエネルギー・土地水資源調整課に改編されます。)
【住所】〒630-8501 奈良市登大路町30
【電話】0742-27-8016 【FAX】0742-27-6395

※このリーフレットは「ふるさと奈良県応援寄付金」を活用して作成しました。

背景

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機として、分散型エネルギーの確保、緊急時のエネルギー対策及び省エネの推進といった地域レベルのエネルギー施策について、地方自治体が積極的に関わることが求められるようになりました。

また、平成 30 年度の台風 21 号や北海道胆振東部地震による大規模停電の発生により、地域レベルでのエネルギー施策の必要性が再認識されたと受け止めています。

本県では、「奈良県エネルギービジョン（H25-H27）」及び「第 2 次奈良県エネルギービジョン（H28-H30）」のもと、エネルギー政策を推進してきましたが、今後も地域レベルでのエネルギー施策が必要との認識から、平成 31 年度以降のエネルギー施策の指針として「第 3 次奈良県エネルギービジョン」を策定しました。

第 3 次奈良県エネルギービジョンの基本方針と目標

【方向性】 **「緊急時等にも強く、地域のエネルギー資源を使ったエネルギーのかしこい利活用」**

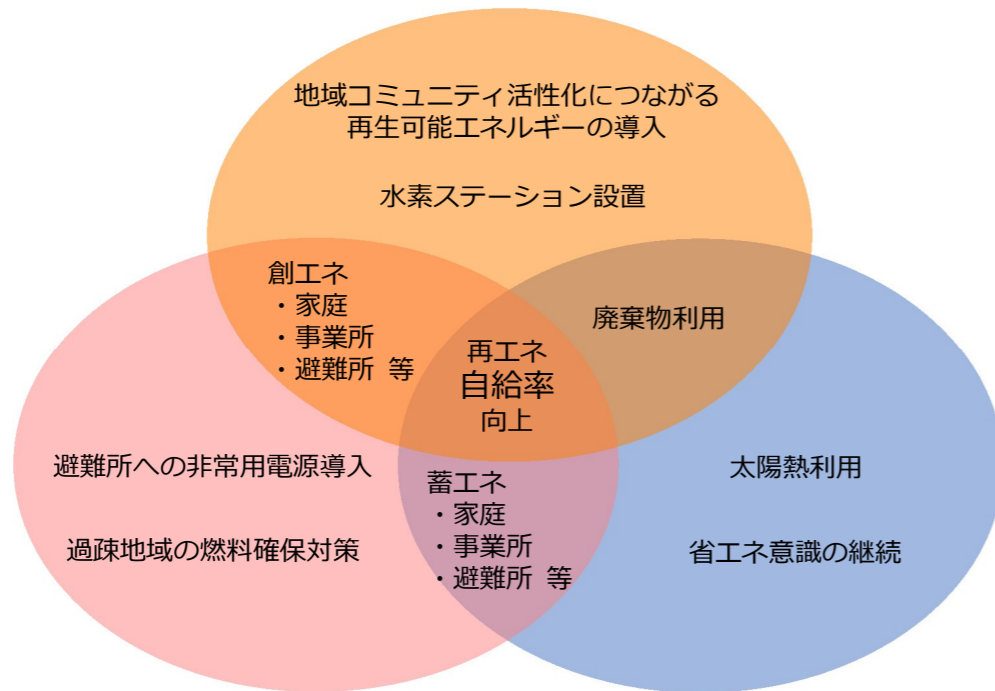
【計画期間】 **2019 年度から 2021 年度までの 3 カ年**

【基本目標】 再生可能エネルギーによる電力自給率（2017 年度 20.3%）を **2021 年度までに 22.0%にします。**

再生可能エネルギーによる電力自給率(%) = 再生可能エネルギーによる年間発電見込量 ÷ 年間電力使用量

【基本方針】

①環境にやさしいエネルギーの利活用による地域活力の向上



②緊急時のエネルギー対策の推進

③エネルギーをかしこく使うライフスタイルの推進

第 3 次奈良県エネルギービジョンの推進に向けた取組

①環境にやさしいエネルギーの利活用による地域活力の向上

地域コミュニティ活性化などにつながる再生可能エネルギーの導入

○地域住民が主体となった再生可能エネルギーの導入などにより地域コミュニティの活性化につながる取組を支援（木質バイオマス、小水力）

○先進事例などの県内への導入可能性について検証し、地域へ働きかけ

次世代自動車の利便性向上のため、県内初の水素ステーションを設置

○民間等の水素ステーション設置を誘導するため、具体的な候補地を検討し、関連事業者へ働きかけ

○電気自動車用充電器の普及促進



手作り水車の導入
(山添村の野地区)



道の駅の急速充電器（十津川村）

②緊急時のエネルギー対策の推進

地域での非常時におけるエネルギー対策を促進し、緊急時の対応を図る

- 避難所や災害時拠点となる施設への非常用電源の導入支援
- 過疎地域ガソリンスタンドの運営維持のための取組への支援
 - ・対象市町村と連携した勉強会の実施
 - ・先進事例を研究し、県内での導入可能性を検討

家庭・事業所における自立分散型エネルギーの導入促進

- 家庭・事業所における創エネ・蓄エネシステム導入への支援
 - ・蓄電池、エネファーム、太陽熱利用システム等の導入支援
 - ・再生可能エネルギー導入検討に必要な知見を提供



太陽光発電設備
及び蓄電池の導入
(野迫川中学校)



非常用発電機の導入
(桜井市八井内地区)

③エネルギーをかしこく使うライフスタイルの推進

「奈良の省エネスタイル」の推進

- 電力使用量 2014 年度比 3.5%減を維持
 - ・電力需要の高くなる夏・冬にあわせ、省エネの呼びかけ
 - ・かしこいエネルギー利用に関する募集・表彰・周知
- 講演会・研修会等を活用した理解促進
 - ・次世代の子ども達に向けたエネルギー教室の開催
- 事業所等への省エネ設備等の導入支援
 - ・省エネ性の高い空調機器や照明等の導入支援

エネルギーをかしこく使う取組の推進

- 太陽熱を利用したシステム導入への支援
- コージェネレーションシステム導入に対する支援
- 廃棄物を用いたエネルギー効率利用の推進
 - ・ごみ焼却場における廃棄物発電に対する支援



エネルギー教室



飲食店へのガスコージェネレーションシステムの導入